



Dear
My
Master

～ 縛られ×縛られ ～



ん...

ぷっ

ミミミ

んっ

じゅる

...ああ、そうだ。
いいぞ、その調子だ

じゅる

アッ

ア

ぢゅる...

おっ

このまみ出すぞっ!

びゅん

びゅん

はあっ

んっ

ずるずる...



ああッ……!



ふあい…
ご主人様…

さあ、きれいに掃除するんだ。
そのまま舐めてくれるね?

はー

はー

半年前—



奥様が流行り病で
身罷られました。

以来ご主人様はひどく
荒れてしまわれ、

耐えかねた使用人は
皆お屋敷を
去っていききました。

今はもうお屋敷には
行く宛のない私と
ご主人様の二人だけ…

ご主人様…

ん…

!?



一体何を!

何って……
夫婦の営みさ

ギリ……



…!!
ご主人様!?



すまない……

ひっ……

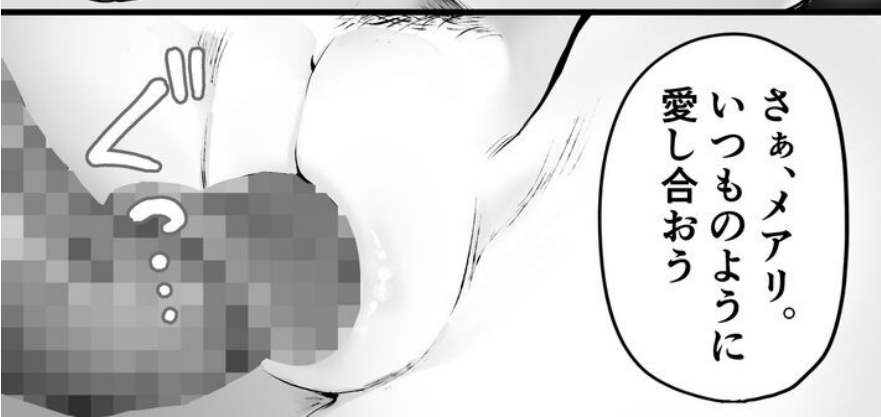
ビュッ

妻の名前を
呼び間違えるなんて、
どうにかしていたよ



いつもの
ことだろう?
メリア

嘘——
まさか私を
奥様と勘違いして……



さあ、メリア。
いつものように
愛し合おう



…ん?

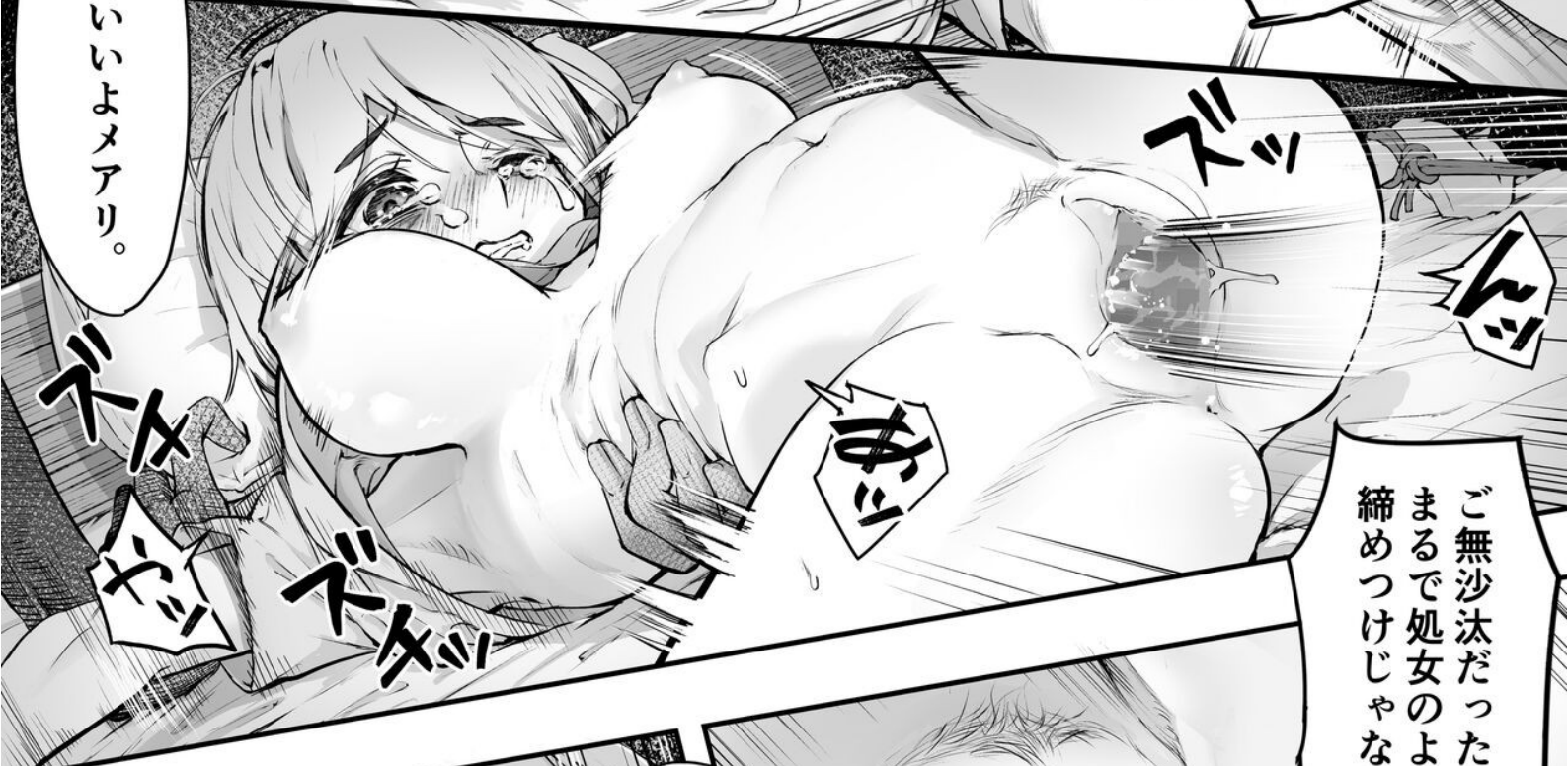
ああ、
そうだった



違います!
私はメイドのメリアで、
奥様じゃ……!



ああ、いいよメアリ。



ご無沙汰だったせいかな、
まるで処女のような
締めつけじゃないかっ



嫌...
どうしてこんな...

あっ...
ううっ...

まじっ



それから奇妙な生活が始まりました。



そのまま私は、日が昇るまで一晩中犯され続けました。

メイドとしての
メアリではなく――

さあ、
今夜もおいで。
メアリ

ご主人様の
妻としての生活です。

はい…

この前
教えたとおり
してごらん

ん…

んっ…

ああっ…!

ん…

ん…



ガキガキ

あっ...

はぁっ

ダメっ...!
そんなところ...

あっ...!

ガクン

ご主人様は
私がどこへ行くときも、
ついていらっしやる
ようになりました。

アッ

アッ

アッ

アッ

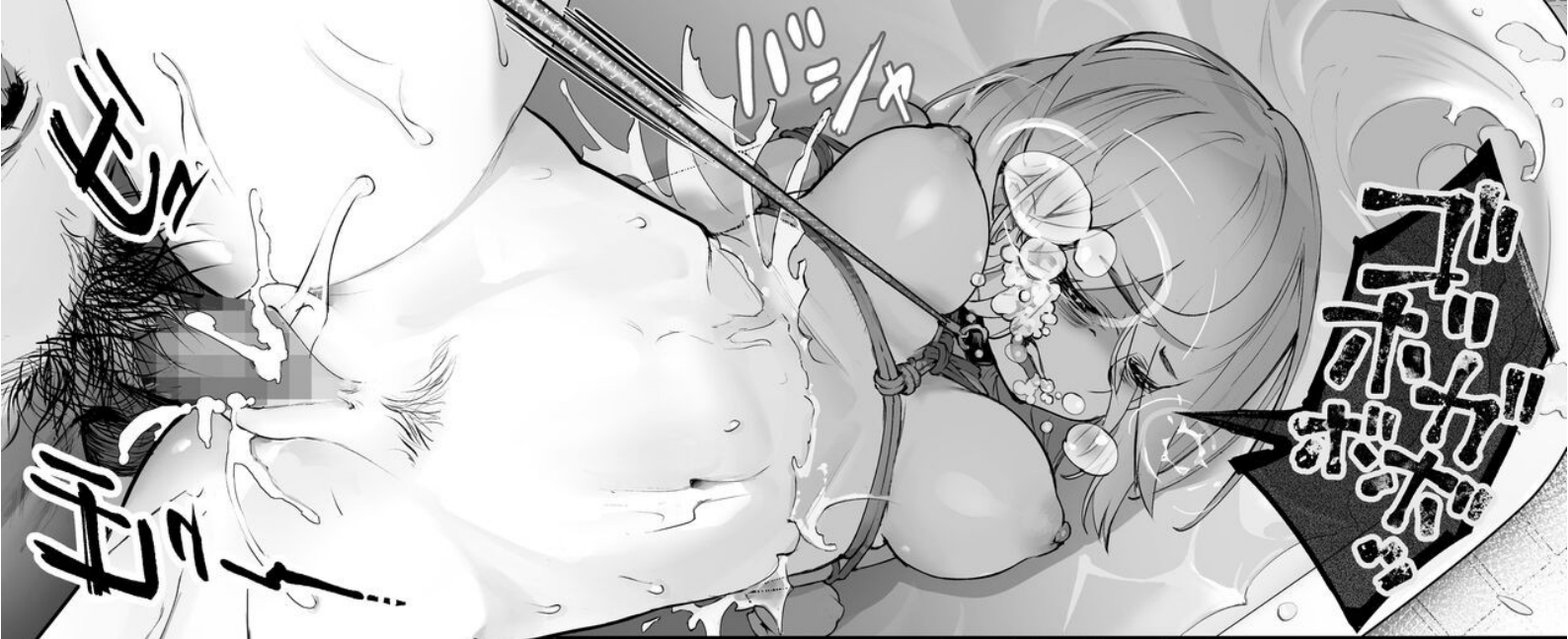
アッ

ボッ

ボッ

ボッ

ボッ



おっおっおっ



市場の路地裏でも――



ダメですっ……!!
誰かに見られ……!!

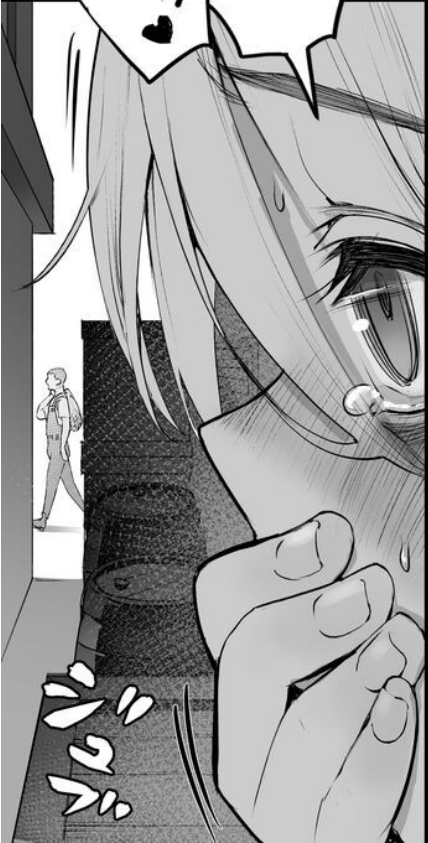
あッ

アッ

んんん

ズンズン

アッ



ダメですっ……!!
誰かに見られ……!!

ダメですっ……!!



ああ、そうか。
この人は――

お願いだから……



もう私から離れたり
しないでくれ……

メアリ……
お前はどこにも
行かないでくれ。

ご主人様？



だって私は、
あなたの
妻ですもの



どこにも
行ったりなんて
しません

大丈夫です。
ご主人様。



さあ
ご主人様……

んっ……



メアリ……

どうかずっと……
お傍に
居させてください

『Dear My Master ～縛られ×縛られ～』

発行・編集：アダチユーキ

作画：かーます

脚本：夜市廻

連絡先：yukia706@gmail.com

